令和５年度　京町小学校だより　No.14

京　町

令和５年９月２２日（金）
地域を愛し、豊かな人生を歩む
ために学ぶ子どもの育成
《文責》　校長　小西　郁美

■ 令和5年度　学校巡回公演事業

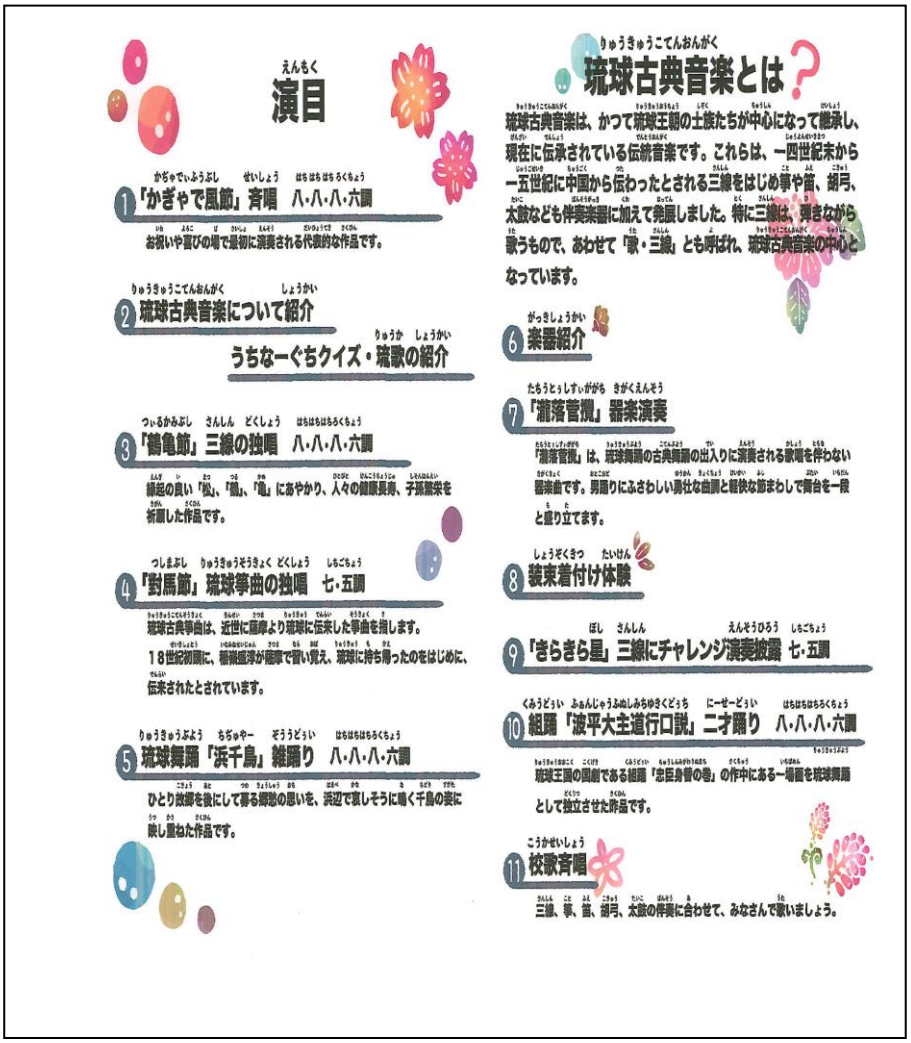
沖芸大琉球芸能専攻OB会・・・・5年生、6年生

９月 13 日（水）の午後に、文化庁の芸術家派遣事業として演奏や舞踊を披露していただいたみなさんは沖縄から、三線や舞台装置などの道具を担当されているみなさんは東京都豊島区から、京町小学校に来校していただき、素晴らしい演奏や舞踊、その他、下に示していますように、本校の校歌を三線などで演奏していただくなど、貴重な体験をさせていただきました。

〇今日は、沖芸大琉球芸能専攻 OB 会の方に来ていただきました。沖芸大の方々は、きれいないしょうを着ていました。私は５番目の琉球舞踏が印象に残りました。とてもしなやかな動きでした。衣しょうもちがってとてもきれいでした。さいごのおどりはとてもはく力があり、かっこよかったです。　（　古賀　ゆい　さん）

〇今日は、沖芸大琉球芸能専攻 OB 会の方に来ていただきました。沖縄の歌や踊りなどを沖縄の楽器に合わせて歌い、踊ってくれました。とてもきちょうな体けんになりました。

（　浅田たける　さん）



演目

1 「かぎゃで風節」斉唱　八・八・八・六調
お祝いや喜びの場で最初に演奏される代表的な作品です。

2 琉球古典音楽について紹介
うちなーぐちクイズ・琉歌の紹介

3 「鶴亀節」三線の独唱　八・八・八・六調
縁起の良い「松」、「鶴」、「亀」にあやかり、人々の健康長寿、子孫繁栄を祈願した作品です。

4 「對馬節」琉球箏曲の独唱　七・五調
琉球古典箏曲は、近世に薩摩より琉球に伝来した箏曲を指します。
18世紀初頭に、稲嶺盛淳が薩摩で習い覚え、琉球に持ち帰ったのをはじめに、伝来されたとされています。

5 琉球舞踊「浜千鳥」雑踊り　八・八・八・六調
ひとり故郷を後にして募る郷愁の思いを、浜辺で哀しそうに鳴く千鳥の姿に映し重ねた作品です。

琉球古典音楽とは？
琉球古典音楽は、かつて琉球王朝の士族たちが中心になって継承し、現在に伝承されている伝統音楽です。これらは、一四世紀末から一五世紀に中国から伝わったとされる三線をはじめ箏や笛、胡弓、太鼓なども伴奏楽器に加えて発展しました。特に三線は、弾きながら歌うもので、あわせて「歌・三線」とも呼ばれ、琉球古典音楽の中心となっています。

6 楽器紹介

7 「瀧落菅攪」器楽演奏
「瀧落菅攪」は、琉球舞踊の古典舞踊の出入りに演奏される歌唱を伴わない器楽曲です。男踊りにふさわしい勇壮な曲調と軽快な節まわしで舞台を一段と盛り立てます。

8 装束着付け体験

9 「きらきら星」三線にチャレンジ演奏披露　七・五調

10 組踊「波平大主道行口説」二才踊り　八・八・八・六調
琉球王国の国劇である組踊「忠臣身替の巻」の作中にある一場面を琉球舞踊として独立させた作品です。

11 校歌斉唱
三線、箏、笛、胡弓、太鼓の伴奏に合わせて、みなさんで歌いましょう。

授業＆お仕事拝見

かわかぜ１組
嘉村貴美子　先生

かわかぜ学級１の授業を参観しました。かわかぜ学級は異なる学年の授業を、同時に行う必要があります。この日も、嘉村先生を囲んで、お子さま方がきちんと座って、算数の学習に一生懸命に取り組んでいました。

また、かわかぜ学級１は、高さが低いパネルで区切ることができるようになっており、お子さまが周囲を気にしたくない時には、個室のような環境にもなるように工夫をされています。また、一区画は一段高くなっており、お子さまがクールダウンをしたい時には、休憩することもできるようになっています。かわかぜ学級には、多くの支援員の先生方にも教室についていただいて、お子さまと学習をしていただいています。できるだけ、それぞれのお子さまに対応できるように努めています。

【嘉村貴美子先生が、先生になろうと思った動機を伺いました・・・】

中学校の時に教えていただいた音楽の先生がとてもやさしくて素敵な先生でした。先生のようになりたいなあとあこがれ、中学生の頃から、先生になりたいと思っていました。また、小さい子ども達と接することも大好きでした。そのため、小学校の先生になろうと決めました。

毎日、子ども達と接していく中で、新しいことができるようになってくれることなど、喜びや発見があります。そのことをとてもうれしく思っています。子ども達もとてもかわいいです。いつも頭の隅に、「これは算数で使えるかなあ」「これを教材で使うと興味を持ってくれるかなあ」など考えています。買い物に行った時などは、教材を思いつくことがあります。そのような「ひらめくこと」をとても楽しいと思っています。教員生活の中では、いろいろなことがありますが、自分は、特別なことではなく、毎日こつこつと授業を積み重ねていくことを大切にしています。

■ボールの片付け

体育委員会の活動として、運動場で使用するボールに、黒マジックではっきりと「運動場」と書いてくれています。この活動のおかげで、どのボールを運動場で使うことができるかがとてもわかりやすくなりました。体育委員会の活動をとてもたのもしく思っています。

その一方で、最近は、毎日のように運動場にボールが放置されています。ボールを片づける意識を持つことができるように、放置されたボールは、使用できないようにしています。そのため、運動場で使用できるボールの数が減っています。そろそろ自分たちで片付ける意識を持ってほしいと思います。